



作品担当者

松阪建築家クラブ

会長 谷川 精一
(株)アスカ総合設計 (松阪支部)

事務所・店舗 松阪市本町

Piece ピース café & store

構造 | 木造 (土蔵)

階数 | 地上 1 階

敷地面積 | m²

建築面積 | 90.52 m²

延べ面積 | 90.52 m²

竣工 | 令和 3 年 11 月



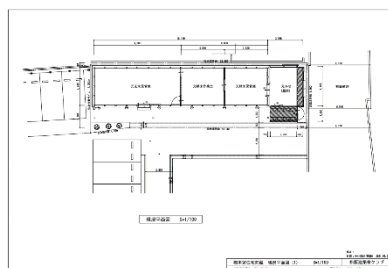
再生後_外観



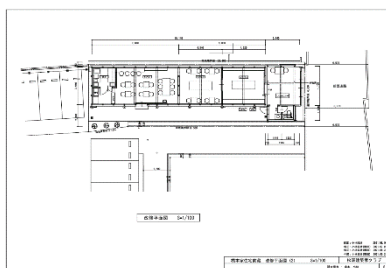
再生後_内観



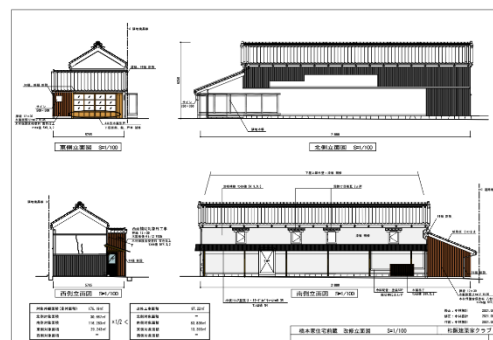
再生後_内観



現況平面図



改修平面図



改修立面図

作品コンセプト

松阪支部会員である私たちは、技術力向上と松阪地域の建築文化の向上に寄与することを目的とした任意団体「松阪建築家クラブ」を構成し、活動しています。

私たちは様々な形で地元松阪の事業に参画してきましたが、今回地域の歴史的・文化的資源を発見・活用し、地域の価値や魅力を高めていくまちづくりに係る活動として、「わがまち松阪を考える」をテーマに一般市民にも呼びかけて、平成 27 年から 3 年間続けた旧市街地のまち歩き、見学会、講演会、研修会等を基に、建築士として目に見える形でまちづくり実践活動へと進めたところ、松阪景観重点地区の旧参宮街道沿いに建つ、使われていない歴史的建造物を再生・利活用する具体的な事例を示す機会に恵まれました。

地域の空き家や、空き店舗が使うことで活かされ、本来のまちなみを取り戻す姿を思い描き、景観・観光まちづくりの契機となることを目指しました。所有者・利活用者とのマッチング支援組織を継続させていくことが今後の課題ですが、このような形で地域建築文化への寄与を示せたことは、建築に携わる専門家集団として一歩踏み出せたものと思います。

またこの事業を、三重県建築士会・地域貢献活動助成事業として認定いただき、「みんなで創ろう私たちのまち～まち歩きから古民家再生へ」と題した冊子作成事業を行い発刊させていただくことができました。

我々が取り組んだ活動が起爆剤となり、今後の松阪のまちづくり、古民家再生に少しでも多くの方々に関わっていかれることを望みます。

(松阪建築家クラブ正会員：小林康弘・地主昌美・山本晃広・宮本公夫)